



ご自身のところから地震対策

非常持出品キットを作りましょう!!

阪神淡路大震災での死亡原因の約8割は住宅の崩壊や家具の転倒による圧死でした。

家庭でできる地震対策は、第1に耐震補強、第2に家具の固定であることは言うまでもありません。しかし、滋賀県内における木造住宅の耐震診断は目標の16%、改修は2%未満という状況です。

家具の固定や耐震診断に比べ、割安なうえに安心感が得られることから防災用品を備蓄する家庭が多くなりました。ところが、それらの多くは押入れや戸棚など手の届かないところに保管されているのではないのでしょうか。

琵琶湖西岸断層帯による地震は容赦なく家具を押し倒し、家屋を倒壊させるかもしれません。

滋賀県の被害想定によると、高島市の避難者総数は約10,500人で、5人に1人が避難所生活を余儀なくされます。また、避難所生活をまぬがれても、国などの支援が始まるまで生活しなければなりません。最低限の非常持出品は手の届くところに置いておきましょう。

非常持出品は、緊急避難用の「1次持出品」と避難生活用の「2次持出品」に分けておくことが便利です。

1次持出品はリュックサック等に入れて出入り口近くや車の中に保管しましょう。但しリュックサックの重さの基準は成年男子で15kg、成人女性で10kgが限界です。

<p>1次持出品の例 1日分が目安</p> <p>リュックサックなどに入れて保管</p>	<p>2次持出品の例 3日分が目安</p> <p>コンテナなどに入れて保管</p>
---	--

12月の火災・救急・救助 件数

平成18年12月分 ()内は年累計

火災	建物火災/0(7)	車両火災/1(4)	その他火災/0(4)
救急	交通事故/21(261)	一般負傷/29(386)	急病/121(1,451) その他/28(322)
救助	火災/2(12)	交通事故/1(18)	水難事故/0(4) その他/1(11)

注)【救急】その他=火災+労働災害+運動競技+加害+自損行為+転院搬送等

■平成18年 年間災害件数	
火災/15(-8)	救急/2,420(+11)
救助/45(-9)	()内は前年比

★使うときは…
 ・火気使用器具や高熱を発生する器具の近く、直射日光のあたるところなど、高温となる所には置かないでください。
 ・火気の近くでスプレー缶などは使用しないでください。
 ・取扱以上の注意事項を確認しましょう。
 ・スプレー缶などの中身は完全に使い切り、穴を開けて回収コンテナに入れてください。

119番で消防
 スプレー缶等による事故防止対策を!!

1/14 日

阪神大震災から12年
 「備えと構え」を心に刻す
 阪神淡路大震災メモリアルイベント
 「私たちが1.17は忘れない」
 (湖西中学校グラウンドにて)

1/19 金

校舎全体が博物館で
 みんなが学芸員
 1年間の研究成果を発表
 「安曇川博物館」
 (安曇小学校にて)

1/27 土

雪がなくても
 盛りだくさんのイベントで
 会場は大盛り上がり
 「マキノウィンターフェスティバル2007」
 (マキノ高原にて)

CONTENTS 目次

タウンピックアップ	2~4	文化情報	11
介護予防	5	防災情報	12
シリーズ「財政」	6・7	消防からのお知らせ	12
情報お知らせ版	8~10		

2月15日号
 平成19年